

# 2014年3月期第1四半期決算 主要建設会社決算分析

2013年9月5日



一般財団法人 **建設経済研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33NP御成門ビル8F

Tel: 03-3433-5011 Fax: 03-3433-5239

URL: [http:// www.rice.or.jp](http://www.rice.or.jp)

## **◆目 次**

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ① 受注高
  - ② 売上高
  - ③ 売上総利益
  - ④ 販売費及び一般管理費
  - ⑤ 営業利益
  - ⑥ 経常利益
  - ⑦ 特別利益・特別損失
  - ⑧ 当期純利益
  - ⑨ 有利子負債
  - ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ
5. 参考資料

## **◆1. 調査の目的**

一般財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別に経年比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信等から判明する2014年度3月期第1四半期決算の財務指標の分析を提示するものです。なお、一部の分析対象会社については2013年度12月期第1四半期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 一般財団法人 建設経済研究所  
専務理事 長谷川 啓一  
研究員 林田 宏大  
海老澤 剛

電話：03-3433-5011 FAX：03-3433-5239

## ◆2. 分析対象会社

### (1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設会社を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること。
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと。
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと。

### (2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つの階層に分類した。

今回、年に一度の対象会社・階層分類の見直しを実施し、変更を行った(下線企業)。なお、この変更は、過去に遡り反映させている。

2013年度

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組	4社
準大手	2,000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、 <u>安藤ハザマ</u> 、五洋建設、前田建設工業、三井住友建設、西松建設、熊谷組、東急建設	9社
中堅	2,000億円以下	奥村組、東亜建設工業、浅沼組、鉄建建設、銭高組、東洋建設、ナカノフドー建設、飛鳥建設、大豊建設、福田組、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、東鉄工業、松井建設、名工建設、大本組、矢作建設工業、大和小田急建設、新日本建設、若築建設、北野建設、不動テトラ、 <u>大末建設</u> 、 <u>第一建設工業</u> 、 <u>南海辰村建設</u> 、 <u>徳倉建設</u>	26社

※安藤ハザマは合併に伴い階層を変更(中堅→準大手)。過去の決算数値は単純合算している。

※大末建設、第一建設工業、南海辰村建設、徳倉建設は新規追加している。

※竹中工務店については、第1四半期決算の情報を開示していないため、今回の分析対象会社からは除外している。

※一部の分析項目については、開示していない企業もあるため、対象企業が39社に満たないものがある。

※受注高は原則として単体で集計しているが、ナカノフドー建設、ピーエス三菱、東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラ、南海辰村建設(いずれも中堅)は連結数値にて集計した。(単体は非公表)

### **◆3. 報告要旨**

- 受注高は、民間設備投資の緩やかな回復や、緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）の本格実施に伴う公共工事の増加などを背景に、全階層で大幅な増加となり、受注環境は回復基調にあることが鮮明となった。
- 東日本大震災以降、被災 3 県を中心に資機材・技能労働者不足が深刻化しており、工事遅延の恐れがあると懸念されていたが、各企業の調達努力も相まって、手持ち工事が順調に進み、売上高は全階層で増加した。
- 売上高が全階層で増加した一方、売上総利益は明暗が分かれた。「準大手」・「中堅」は売上総利益が増加した一方、「大手」は減少した。「大手」は厳しい価格競争を経て受注した不採算工事の影響が依然として残り、これに加え資機材価格の上昇・労務逼迫による労務費の上昇も重なり、売上総利益は減少した。
- 売上総利益の減少に販管費の増加も加わり、「大手」が営業利益を減少させた中、政府による緊急経済対策などを背景に、円安・株高が進行し、為替差損益の改善、及び有価証券評価・売却損益の改善もあり、当期純利益は全階層で増加した。
- 資機材価格の上昇や、労務逼迫による労務費の上昇を懸念する声は未だに強く、採算改善に向けた今後の動向には引き続き注視が必要である。

## ◆4. 主要分析結果

### ① 受注高（単体）

#### 【 受注高（建築・土木）合計 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度1Q	649,283		404,462		362,408		1,416,153	
10年度1Q	554,431	▲ 14.6%	423,451	4.7%	363,077	0.2%	1,340,959	▲ 5.3%
11年度1Q	701,599	26.5%	540,240	27.6%	368,147	1.4%	1,609,986	20.1%
12年度1Q	843,618	20.2%	455,720	▲ 15.6%	404,676	9.9%	1,704,014	5.8%
13年度1Q	954,571	13.2%	549,136	20.5%	489,688	21.0%	1,993,395	17.0%

今年度予想/達成度(大手) 単位:百万円

	受注予想額	達成度
13年度半期予想	1,845,000	51.7%
13年度通期予想	4,160,000	22.9%

■受注高は、民間設備投資の回復や緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）に伴う公共工事の増加などを背景に、総計で前年同期比 17.0%増と大幅な増加となった。

■「大手」は 4 社中 3 社、「準大手」は 9 社中 7 社、「中堅」は 26 社中 21 社と多くの企業が増加した一方、二桁の減少となった企業も 4 社あった。

#### 【 建築 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度1Q	485,543		267,955		204,473		957,971	
10年度1Q	411,909	▲ 15.2%	313,748	17.1%	218,597	6.9%	944,254	▲ 1.4%
11年度1Q	516,259	25.3%	380,559	21.3%	216,330	▲ 1.0%	1,113,148	17.9%
12年度1Q	644,201	24.8%	330,127	▲ 13.3%	231,937	7.2%	1,206,265	8.4%
13年度1Q	689,942	7.1%	390,040	18.1%	285,691	23.2%	1,365,673	13.2%

今年度予想/達成度(大手) 単位:百万円

	受注予想額	達成度
13年度半期予想	1,408,000	49.0%
13年度通期予想	3,115,000	22.1%

※建築部門集計は建築部門のない不動テトラ（中堅）を除いて集計。前田建設工業（準大手）は不動産事業も含む。

■建築部門の受注高は、総計で前年同期比 13.2%増と 3 期連続で増加となった。「大手」は前年同期比で 7.1%増であったのに対し、「準大手」は 18.1%増、「中堅」は 23.2%増と二桁の増加となった。

■全階層で増加となった一方、「大手」は 4 社中 1 社、「準大手」は 9 社中 1 社、「中堅」は 25 社中 10 社が減少し、「中堅」においては二極化の傾向がみられた。

## 【土木】

受注高/前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度1Q	134,046		131,409		146,443		411,898	
10年度1Q	115,871	▲ 13.6%	102,880	▲ 21.7%	134,009	▲ 8.5%	352,760	▲ 14.4%
11年度1Q	157,234	35.7%	151,591	47.3%	144,093	7.5%	452,918	28.4%
12年度1Q	172,280	9.6%	117,408	▲ 22.5%	163,019	13.1%	452,707	▲ 0.0%
13年度1Q	224,641	30.4%	152,752	30.1%	190,653	17.0%	568,046	25.5%

今年度予想/達成度(大手)

単位:百万円

	受注予想額	達成度
13年度半期予想	380,000	59.1%
13年度通期予想	925,000	24.3%

■土木部門の受注高は、総計で前年同期比 25.5%増と大幅な増加となった。「大手」・「準大手」は前年同期比で 30%を超える大幅な増加、「中堅」も 17.0%増と二桁の増加となった。「準大手」の大幅増加は前年同期の大幅減による反動によるところが大きいと考えられる。

■全階層で二桁の増加となった一方、「大手」は 4 社中 1 社、「準大手」は 9 社中 3 社、「中堅」は 26 社中 11 社が減少し、建築部門同様、「中堅」においては二極化の傾向がみられた。

## ② 売上高(連結)

売上高/前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度1Q	1,417,596		609,261		486,318		2,513,175	
10年度1Q	1,051,177	▲ 25.8%	602,213	▲ 1.2%	472,413	▲ 2.9%	2,125,803	▲ 15.4%
11年度1Q	1,044,009	▲ 0.7%	577,608	▲ 4.1%	439,631	▲ 6.9%	2,061,248	▲ 3.0%
12年度1Q	1,158,825	11.0%	629,872	9.0%	454,769	3.4%	2,243,466	8.8%
13年度1Q	1,243,573	7.3%	706,370	12.1%	517,060	13.7%	2,467,003	10.0%

今年度予想/達成度

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上高(予想)	達成度	売上高(予想)	達成度	売上高(予想)	達成度	売上高(予想)	達成度
12年度実績	5,765,863	20.1%	3,240,499	19.4%	2,335,121	19.5%	11,341,483	19.8%
13年度通期予想	5,730,000	21.7%	3,248,000	21.7%	2,458,000	21.0%	11,436,000	21.6%

■売上高は、全階層とも 2 期連続の増加となり、総計で前年同期比 10.0%増となった。

■通期予想達成度については、総計で前年同期実績を 1.8 ポイント上まわっている。

■今年度通期の売上高予想を達成する上では、資機材・技能労働者の供給不足等が懸念材料である。

### ③ 売上総利益（連結）

売上総利益／前年同期比(増加率)／売上総利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
09年度1Q	85,282	(増加率)	41,516	(増加率)	35,229	(増加率)	162,027	(増加率)
10年度1Q	91,007	6.7%	46,474	11.9%	41,397	17.5%	178,878	10.4%
11年度1Q	88,787	▲2.4%	39,076	▲15.9%	27,988	▲32.4%	155,851	▲12.9%
12年度1Q	90,370	1.8%	34,206	▲12.5%	23,160	▲17.2%	147,736	▲5.2%
13年度1Q	86,617	▲4.2%	47,760	39.6%	33,442	44.4%	167,819	13.6%

- 総計で、売上総利益は前年同期比 13.6%増、利益率は前年同期比で 0.2 ポイント上昇した。
- 「大手」については手持ち工事の採算の悪化が続き、利益率が前年同期比で 0.8 ポイント低下し、利益額は前年同期比で▲4.2%となった。
- 「準大手」・「中堅」は両階層ともに利益率が改善し、前年同期比で 1.4 ポイント上昇した。利益額については、前年同期比で「準大手」は 39.6%増、「中堅」は 44.4%増と大幅な増加となった。
- 減益となったのは、「準大手」は 9 社中 1 社、「中堅」は 26 社中 2 社であるのに対し、「大手」は 4 社中 3 社であった。
- 利益率が低下したのは、「準大手」は 9 社中 2 社、「中堅」は 26 社中 8 社であるのに対し、「大手」は全 4 社であった。
- 利益率が改善した企業の一部では、不採算工事の徹底排除・原価管理の強化・コストダウン努力等を利益率改善の要因として挙げている一方、利益率が低下した企業では、資機材費・労務費の上昇を挙げている企業が多く、今後の動向には注視が必要である。

#### ④ 販売費及び一般管理費（連結）

販売費／前年同期比(増加率)／販管費率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	販売費	販管費率	販売費	販管費率	販売費	販管費率	販売費	販管費率
09年度1Q	79,252	(増加率)	44,575	(増加率)	40,139	(増加率)	163,966	(増加率)
10年度1Q	74,466	▲6.0%	40,938	▲8.2%	37,456	▲6.7%	152,860	▲6.8%
11年度1Q	74,485	0.0%	37,056	▲9.5%	34,785	▲7.1%	146,326	▲4.3%
12年度1Q	73,644	▲1.1%	38,222	3.1%	33,070	▲4.9%	144,936	▲0.9%
13年度1Q	74,353	1.0%	37,514	▲1.9%	32,601	▲1.4%	144,468	▲0.3%

■販管費は、「準大手」・「中堅」では減少したものの、「大手」は増加したことにより、総計は前年同期比で▲0.3%とほぼ横ばいとなった。

■販管費率は、売上高の大幅な増加もあり、全階層で低下し、総計は前年同期比で0.6ポイント低下した。

#### ⑤ 営業利益（連結）

営業利益／前年同期比(増加率)／営業利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
09年度1Q	6,030	(増加率)	▲3,059	(増加率)	▲4,911	(増加率)	▲1,940	(増加率)
10年度1Q	16,540	174.3%	5,534	黒字転換	3,939	黒字転換	26,013	黒字転換
11年度1Q	14,299	▲13.5%	2,019	▲63.5%	▲6,795	赤字転落	9,523	▲63.4%
12年度1Q	16,723	17.0%	▲4,016	赤字転落	▲9,908	—	2,799	▲70.6%
13年度1Q	12,262	▲26.7%	10,247	黒字転換	836	黒字転換	23,345	734.0%

■営業利益は、総計で前年同期比約8.3倍、利益率は前年同期比で0.8ポイント上昇した。

■売上総利益が増加し、加えて販管費が減少した「準大手」・「中堅」は黒字転換し一方、売上総利益が減少し、加えて販管費が増加した「大手」は減少した。

■営業利益が増加（もしくは営業赤字幅が縮小）したのは、「大手」は4社中1社であったのに対し、「準大手」は全9社、「中堅」は26社中22社であり、「準大手」・「中堅」の多くの企業が利益を増加させた。



## ⑥ 経常利益（連結）

経常利益／前年同期比（増加率）／経常利益率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計					
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率				
09年度1Q	9,399	(増加率)	0.7%	▲ 2,867	(増加率)	▲ 0.5%	▲ 5,006	(増加率)	▲ 1.0%	1,526	(増加率)	0.1%
10年度1Q	15,636	66.4%	1.5%	2,956	黒字転換	0.5%	4,247	黒字転換	0.9%	22,839	1,396.8%	1.1%
11年度1Q	14,562	▲ 6.9%	1.4%	1,651	▲ 44.1%	0.3%	▲ 5,509	赤字転落	▲ 1.3%	10,704	▲ 53.1%	0.5%
12年度1Q	18,550	27.4%	1.6%	▲ 5,115	赤字転落	▲ 0.8%	▲ 8,942	—	▲ 2.0%	4,493	▲ 58.0%	0.2%
13年度1Q	22,148	19.4%	1.8%	12,724	黒字転換	1.8%	2,665	黒字転換	0.5%	37,537	735.4%	1.5%

■ 経常利益は、総計で前年同期比約 8.4 倍、利益率は前年同期比で 1.3 ポイント上昇した。

■ 「大手」は前年同期比で 2 期連続増加し、「準大手」・「中堅」は 3 期ぶりに増加に転じた。

■ 「大手」は営業利益が減少したものの、円安の進行に伴い多額の為替差益（約 38 億円、前年同期比 66 億円増）を計上したこともあり、経常利益は増加した。

※ 為替差損益は、為替差益－為替差損で算定。今回本文中での「差益」の表現は、この損益差額のプラスを指す。ただしこの計上は各社の分類によるものであり、為替差損益に該当するものでも企業によっては「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

## ⑦ 特別利益・特別損失の内訳（連結）

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	12年度1Q	13年度1Q	12年度1Q	13年度1Q	12年度1Q	13年度1Q	12年度1Q	13年度1Q
<b>特別利益</b>	<b>1,567</b>	<b>2,111</b>	<b>217</b>	<b>14,942</b>	<b>755</b>	<b>817</b>	<b>2,539</b>	<b>17,870</b>
主な内訳								
投資有価証券売却益	11	1,894	0	3,323	4	73	15	5,290
固定資産売却益	812	138	131	148	279	700	1,222	986
負ののれん益	0	0	0	10,588	287	6	287	10,594
<b>特別損失</b>	<b>6,432</b>	<b>281</b>	<b>5,237</b>	<b>283</b>	<b>2,345</b>	<b>544</b>	<b>14,014</b>	<b>1,108</b>
主な内訳								
投資有価証券評価損	5,710	62	4,451	24	1,578	153	11,739	239
固定資産除却損	0	17	23	77	77	5	100	99
減損損失	0	0	62	15	40	223	102	238

■ 株式市況の好転により、全階層とも投資有価証券評価損が大幅に減少し、一部の企業では投資有価証券の売却により、売却益が大幅に増加した。

■ 「準大手」の 1 社は、合併に伴い約 106 億円の「負ののれん益」を計上している。

※ 為替差損益同様、上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、企業によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

## ⑧ 当期純利益（連結）

当期純利益／前年同期比(増加率)／当期純利益率

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
09年度1Q	2,500	(増加率)	▲ 2,779	(増加率)	▲ 10,417	(増加率)	▲ 10,696	(増加率)
		0.2%		▲ 0.5%		▲ 2.1%		▲ 0.4%
10年度1Q	10,492	319.7%	2,783	黒字転換	2,082	黒字転換	15,357	黒字転換
		1.0%		0.5%		0.4%		0.7%
11年度1Q	14,583	39.0%	▲ 1,372	赤字転落	▲ 5,708	赤字転落	7,503	▲ 51.1%
		1.4%		▲ 0.2%		▲ 1.3%		0.4%
12年度1Q	6,713	▲ 54.0%	▲ 9,489	—	▲ 9,044	—	▲ 11,820	赤字転落
		0.6%		▲ 1.5%		▲ 2.0%		▲ 0.5%
13年度1Q	12,192	81.6%	23,986	黒字転換	764	黒字転換	36,942	黒字転換
		1.0%		3.4%		0.1%		1.5%

■当期純利益は、総計で3期ぶりに増加し、黒字転換となった。利益率は前年同期比で2.0ポイント上昇している。

■「大手」は2期ぶりに増加した。「準大手」・「中堅」は3期ぶりに増加し、黒字転換となった。

■当期純利益が増加（もしくは当期赤字幅が縮小）したのは、「大手」は全4社、「準大手」は全9社、「中堅」は26社中22社であり、当期純損失を計上したのは、「準大手」は9社中2社、「中堅」は26社中10社あった。

## ⑨ 有利子負債（連結）

有利子負債／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
09年度1Q	1,960,383	(増加率)	776,816	(増加率)	540,230	(増加率)	3,277,429	(増加率)
		0.4%		▲ 13.4%		▲ 18.3%		▲ 5.9%
10年度1Q	1,968,792	▲ 6.0%	580,177	▲ 13.8%	382,706	▲ 13.3%	2,813,854	▲ 8.7%
		▲ 9.6%		▲ 0.2%		▲ 5.7%		▲ 7.2%
12年度1Q	1,672,958	▲ 7.2%	519,654	▲ 10.2%	351,248	▲ 2.6%	2,422,862	▲ 7.3%
		▲ 7.2%		▲ 10.2%		▲ 2.6%		▲ 7.3%

有利子負債／前期末実績比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
12年度末実績	1,614,477	(増加率)	548,103	(増加率)	379,137	(増加率)	2,541,717	(増加率)
		▲ 3.9%		▲ 5.2%		▲ 7.4%		▲ 4.7%
13年度1Q	1,551,960	▲ 3.9%	519,654	▲ 5.2%	351,248	▲ 7.4%	2,422,862	▲ 4.7%
		▲ 3.9%		▲ 5.2%		▲ 7.4%		▲ 4.7%

■有利子負債は、総計で前年同期比▲7.3%となった。減少したのは、「大手」は全4社、「準大手」は9社中8社、「中堅」は26社中15社であった。

■前年度末対比では、総計で▲4.7%となった。

■全階層とも有利子負債は減少を続けており、財務体質の安定化が進んでいる。

## ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
		増加(P)		増加(P)		増加(P)		増加(P)
09年度1Q	17.3%		23.1%		26.9%		20.6%	
10年度1Q	18.8%	1.5	25.8%	2.7	32.1%	5.2	23.2%	2.6
11年度1Q	19.9%	1.1	27.0%	1.2	33.9%	1.8	24.4%	1.2
12年度1Q	19.6%	▲ 0.3	25.6%	▲ 1.4	32.2%	▲ 1.7	23.6%	▲ 0.8
13年度1Q	22.9%	3.3	26.3%	0.7	34.0%	1.8	25.9%	2.3

デットエクイティレシオ／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
		増加(P)		増加(P)		増加(P)		増加(P)
09年度1Q	1.59		1.07		0.79		1.24	
10年度1Q	1.71	0.12	0.96	▲ 0.11	0.63	▲ 0.16	1.21	▲ 0.03
11年度1Q	1.59	▲ 0.12	0.82	▲ 0.14	0.55	▲ 0.08	1.10	▲ 0.11
12年度1Q	1.44	▲ 0.15	0.85	0.03	0.55	0.00	1.04	▲ 0.06
13年度1Q	1.07	▲ 0.37	0.72	▲ 0.13	0.47	▲ 0.08	0.83	▲ 0.21

■自己資本比率は、自己資本の増加により、全階層で比率が上昇している。

■デットエクイティレシオは、自己資本の増加に加えて有利子負債の減少により、総計で0.21ポイント改善した。

※自己資本比率は、自己資本÷総資産で算出。デットエクイティレシオは、有利子負債÷自己資本で算出。

## ◆5. 参考資料

### ●受注高(建築・土木:合計)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	1	0	3	4
準大手	1	1	1	6	9
中堅	3	2	6	15	26
総計	4	4	7	24	39

### ●受注高(建築)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	1	2	1	4
準大手	1	0	2	6	9
中堅	6	4	2	13	25
総計	7	5	6	20	38

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラ（中堅）を除いて集計。前田建設工業（準大手）は不動産事業も含む。

### ●受注高(土木)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	1	0	0	3	4
準大手	3	0	0	6	9
中堅	9	2	3	12	26
総計	13	2	3	21	39

### ●売上高増加率(連結) (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	1	0	3	4
準大手	0	0	4	5	9
中堅	3	2	5	16	26
総計	3	3	9	24	39

### ●売上総利益/利益率増加率(連結) (単位:社)

	利益減少		利益増加		合計
	利益率低下	利益率上昇	利益率低下	利益率上昇	
大手	3	0	1	0	4
準大手	1	0	1	7	9
中堅	2	0	6	18	26
総計	6	0	8	25	39

●営業利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	3	1	4
準大手	0	9 (2)	9 (2)
中堅	4 (2)	22 (9)	26 (11)
総計	7 (2)	32 (11)	39 (13)

※ カッコ内は営業赤字

●経常利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	3	4
準大手	0	9 (1)	9 (1)
中堅	2	24 (9)	26 (9)
総計	3	36 (10)	39 (10)

※ カッコ内は経常赤字

●当期純利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	0	4	4
準大手	0	9 (2)	9 (2)
中堅	4	22 (10)	26 (10)
総計	4	35 (12)	39 (12)

※ カッコ内は当期赤字

●有利子負債(連結)／前年同期比(増加率) (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	4	0	0	4
準大手	0	8	0	1	9
中堅	4	15	0	7	26
総計	4	27	0	8	39

●有利子負債(連結)／前期末実績比 (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	4	0	0	4
準大手	0	8	0	1	9
中堅	5	14	3	4	26
総計	5	26	3	5	39